

令和五年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、八ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。すべてに解答しなさい。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章は、伊藤亜紗『手の倫理』（二〇二〇年刊）の第3章の一部分である（一部改変）。文章中「本書」とあるのはこの著作を指す。これを読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

問一 傍線部①「子供の成長を思つて、自分が感じている不安をぐつと抑えなければいけない瞬間がある」とあるが、それはなぜか。本文に即して説明しなさい。

問二 傍線部②「より冷徹」とある。孫悟空が頭に付けられた「輪っか」よりも「針千本マシン」の方が「より冷徹」なのはなぜか。本文に即して説明しなさい。

問三 傍線部③「社会的不確実性」を言い換えた言葉を、本文から十三字で抜き出しなさい。

問四 傍線部④「この施設に夜間以外は鍵をかけません」とあるが、それはなぜか。本文に即して説明しなさい。

問五 この文章で取り上げられている山岸俊男と和田行男では、「信頼」についての考え方が一部異なっている。その共通点と相違点を説明しなさい。

問六 傍線部⑤「ハンバーグが餃子になつたつて、別にいい」と小国が思つたのはなぜか。本文に即して説明しなさい。

問七 「安心」と「信頼」の違いについて、本文中にはない例をあげ、二〇〇字以内であなたの考えを述べなさい。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 銀行に ヨキン する。
- ② すぐれた ドウサツリヨク をもつ。
- ③ 美しい調べに トウスイ する。
- ④ 社会の チツジヨ を守る。
- ⑤ 完成までに五年の歳月を ツイ やす。